

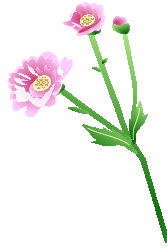


平成29年度学校だより

善誘館 N O . 9

H 2 9 . 1 0 . 2 7

甲府市立善誘館小学校 校長室



校 訓 「善行・勤勉・体育」

学校教育目標

- 思いやる心をもつ子
- よく考え工夫する子
- 元気でたくましい子

本校の学力・学習状況をお知らせします



本年度の全国学力・学習状況調査が4月18日(火)に、全国の小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童生徒を対象に実施されました。本校でも6年生が参加しました。

調査内容は、①教科に関する問題(国語・算数)と、②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査です。国語と算数は、A：主として「知識」に関する問題と、B：主として「活用」に関する問題に分かれています。

この調査の目的は、その学校の児童の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善及び生活指導などに役立てることです。このたび、調査結果の分析がまとまりましたので、その概要をお知らせするとともに、本校のホームページにも掲載していきたいと思えます。

なお、調査に参加しました6年生一人一人には、個別懇談会を利用して個人票を基に、具体的に課題等について説明していく予定です。

分析結果の概要



1 本校の状況(全国と比較)

本校の結果は、国語A、国語B、算数A、算数Bについて、すべて全国平均を上回っています。特に算数Bに関しては、全国平均を大きく上回っており、算数の基礎的・基本的な知識・技能を活用する力が伸びてきているといえます。

調査の結果につきましては、山梨県教育委員会の分析にもあるように、全国平均正答率の±5%の範囲にある場合は、全国平均とほぼ同等であると考えています。

2 教科ごとの状況と課題

【○定着している内容 ◇課題のある内容】

国 語

A 主として「知識」に関する問題

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができる。
- 手紙の構成を理解し、後付けを書くことができる。
- 俳句の情景を捉えることができる。
- ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができる。
- 古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことができる。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができる。

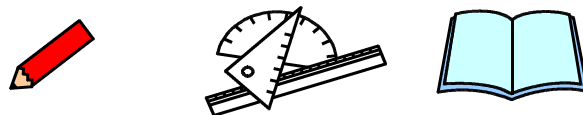


◇互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことに課題がみられる。

B 主として「活用」に関する問題

- 目的や意図に応じて文章全体の構成を考えることができる。
- 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができる。
- 登場人物の相互関係や心情、場面について描写を捉えることができる。
- 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることができる。
- ◇目的や意図に応じ、引用して書くことに課題がみられる。

算数



A 主として「知識」に関する問題

- 1より小さい数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を垂直線に表すことができる。
- 小数と整数の加法の計算をすることができる。
- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算ができる。
- 商を分数で表すことができる。
- 正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している。
- 立方体の面と面の位置関係を理解している。
- ◇小数の乗法の計算において、乗法を整数に置き換えての考えるときの乗法の性質を理解することに課題がみられる。
- ◇資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることに課題がみられる。

B 主として「活用」に関する問題

- 示された条件を基に、適切な式を立てることができる。
- 問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述することができる。
- 料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することができる。
- 直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる。
- 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる。
- 仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述することができる。
- 示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述することができる。
- 割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる。
- 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断することができる。

3 教科における主な改善点



国語

- ※目的に応じて、相手の意図は何か、自分の予想との違いは何か、自分の考えとの共通点や相違点は何かなどを観点として、相手の話を注意深く聞き、話し合うことができるようにしていく。
- ※目的や意図に応じて、取材の方法等を工夫して、書く事柄を収集し、その中から事実と自分の感想や意見などを区別しながら内容を整理して書くことができるように指導していく。
- ※物語を読んで感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにするために、自分の考えが、どの叙述に基づいているのか、自分の経験などとどのように結びついているのかを明らかにしながら伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができるように指導していく。

算数

※整数、小数及び分数の計算においては、問題を解決する過程で、計算の意味と計算の仕方に関連付けて、計算の能力を身に付けることができるようにしていく。

※四則の混合した式の計算や四則に関して成り立つ性質に関して十分に習熟させていく。

※日常生活の事象を、より身近なものなどに置き換え、割合を活用して考察したり、表や図、グラフに表して捉え、そこから見い出すことができる特徴や傾向を基に考察することができるようにしていく。

※児童自らがどのような数量の関係が成り立つのかを予想したり、数値や場面を変えても同じように関係が成り立つかどうかについて考えたり、なぜそのような関係が成り立つのかを図を用いて説明したりすることができるように指導していく。さらに、見出した数量の関係を言葉や式を用いて一般化して表現できるようにしていく。

4 質問紙調査の主な特徴 【○肯定的に捉えられている特徴 ◇課題として捉えるべき特徴】

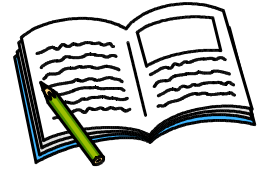
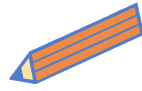
(※質問紙調査・児童に対する学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する調査)

本校の児童の生活習慣や家庭学習などの主な状況は以下の通りでした。

- 毎日、同じくらいの時間に寝ている。
- 自分には良いところがあると思う。
- 将来の夢や目標を持っている。
- 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に活かしている。
- 普段（月～金）1日あたりのテレビ・ビデオ・DVDの視聴時間が2時間以下である。
- 普段（月～金）1日あたりの携帯やスマホでの通話・メール・インターネットをする時間が1時間以下である。
- 普段（月～金）1日あたりの家庭学習の時間が1時間以上である。
- 普段（月～金）1日あたりの読書時間が1時間以上である。
- 昼休みや放課後、又は学校が休みの日に読書したり図書館に行ったりする日が週に3回以上ある。
- 家の人と将来のことについて話すことがある。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 家で学校の授業の復習をしている。
- 学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見の良さを活かしたり、折り合いを付けたりして話し合い、意見をまとめている。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある。
- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。
- 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた。
- 5年生までに受けた授業では、学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行っていた。
- 5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んできた。
- 5年生までに受けた授業の中で、目標が示されていたと思う。
- 5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。
- 5年生までに受けた道徳の授業の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。
- 5年生までに受けた授業や課外活動で、地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった。



- 国語の勉強が好きである。
- 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている。
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- 算数の勉強が好きである。
- 算数の勉強は大切であると思う。
- 算数の授業の内容はよくわかる。
- 算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。
- ◇普段（月～金）1日あたりのテレビゲーム・携帯ゲームをする時間が2時間以上である。
- ◇土日など学校が休みの日の1日あたりの学習時間が2時間以上である。
- ◇携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人との約束を守っている。（約束がないを含む）
- ◇テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている。
- ◇地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある。
- ◇学校の決まりを守っている。
- ◇人が困っているときは、進んで助けている。
- ◇400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思う。



5 質問紙調査からの改善点

※家庭との連携を進めていき、さらに家庭学習の充実を図り、基本的な生活習慣の定着を図る。



平日の家庭学習や読書の習慣の項目は、全国平均と比べて高く、テレビ視聴や携帯スマホなどの使用が適正時間を保っている一方、テレビゲームなどをしている時間が平均より長く、携帯やスマホを含めた家庭でのルール作りが全国平均より低い傾向にある。

※家庭学習は、「学んだことを定着させる」という重要な役割があり、確かな学力の向上には欠かせないものであるということ、全職員で共通理解を図り、取り組んでいく。

※昨年度と同様に、読書好きな児童が多いので、読み聞かせ・朝読書・図書室での授業のさらなる工夫をして、より一層の読書活動の推進に努める。

質問紙調査の結果から、本校の児童は、学習に対する意欲・関心・態度の意識も高く、読書することが大好きであり、「家で予習・復習をしている」ということがわかりました。

本校では、毎朝の読書活動や読書ボランティアによる読み聞かせ、市立図書館の活用、図書委員会の活動などにより、読書活動の推進に取り組んでいます。これらの取り組みが、言語活動の充実につながり、学習に非常に良い影響があると考えます。今後も、さらに学校や家庭での読書活動を進めていきたいと思えます。

家庭学習については、「学んだことを定着させる」という重要な役割があることを再確認し、昨年度から校内研究でも取り組んでおり、各御家庭には、御理解と御協力をいただいています。今後も課題の内容や量について、学年の発達段階等を考慮しながら、さらに工夫改善をしていきたいと考えています。

御家庭におきましても、子供たちがより良い学習環境の中で、自信を持って学習に取り組めますよう引き続き御理解と御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。